

京都の木質資源の利用を考える会
活動報告書

2008年6月

京都の木質資源の利用を考える会活動報告書 目次

1

2

3

3-1

3-2

4

4-1

4-2

4-3

4-4 2

5

6

7

7-1

7-2

7-3

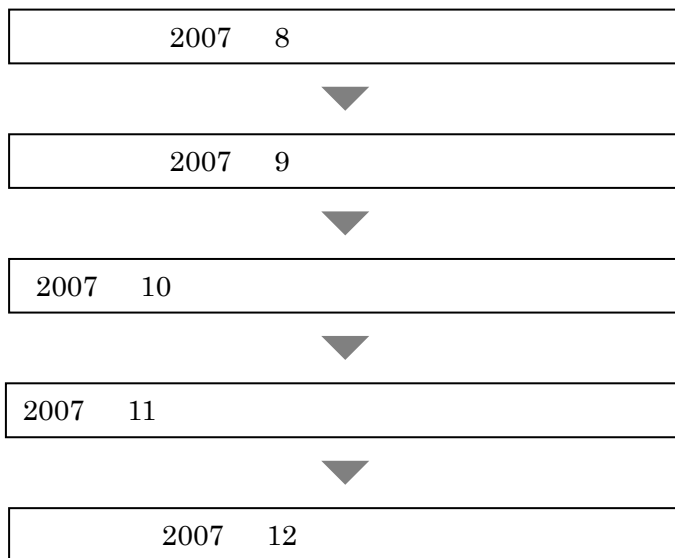
7-4 2

1

70
50

100
30

	2007 8 12



3

3-1

4 12mm 10 25mm
100

50 /kg
3,600 4,00kcal
10 15%
0.5 3%

3-2

2007 7

3-2-1

KYOTO 80 2007 7
82 2007 7

KYOTO

2002 6

4

4-1 1

9 26 19:00 21:00 18:30
NPO

KYOTO

500

50



KYOTO



4-2

10 7 10:00 16:00

10:30 13:00

11:00 14:00

11:30

15:00

14:00 16:00

10:00 12:00

70



1





1

4

2

4-3

11 10 10 00 16 00

10 00 16 00

100



1



4-4 2

11 21 19:00 21:00 18 30
NPO

500
20



5

5-1

50

30

70

1

100

2



4

4

5-2

エネルギー源

1



機器の動作

1 100 300kg
1 20 30kg



原料

10cm



3% 10 12 13 15% 40 50% 2

燃焼機器との整合性

製品の高付加価値化



実際の導入

講演中のひとコマ。参加者は杉とヒノキの丸太を輪切りにしたもの、ヒノキの皮、製材で出た切り粉を順々に見ながら、京都の製材所の現状についての話を聴きました。

「京都の木質資源の利用を考える会」をのぞいてみました



まちing

木のエネルギーのこと、もっと知ろう!

地球温暖化のために何かしたい、地域の森を元気にしたい。林業、製材業などに携わる、そんな思いの人たちが今年7月に立ち上げた「京都の木質資源の利用を考える会」。一般の人にも関心を持ってもらえる催しを企画していると聞き、その一つ「木質ペレット勉強会」に参加してみました。



木質ペレットを手にした松田さん(左)と、サトウキビのペレットを手にした成田さん。火や木のある暮らしの心地よさを伝えたいと、木質燃料にかかわるあれこれを扱う株式会社Hibanaを2人で立ち上げました

撮影：奥田珠貴

とここで「木質ペレット」って何でしょう？ 薪(まき)や炭と同じく、木から作られた燃料(木質燃料)で、石油に代わるクリーンなエネルギーとして注目されているそう。ヨーロッパでは、これを燃やして使うペレットストーブもよく見かけるとか。

勉強会は、ペレットの实物を見るところから始まり、「間伐材やおがくずを粉にして高温で圧縮して作ります。今日は竹やサトウキビの残渣も持ってきました」と、同会事務局の松田直子さんが、参加者は手にとってみたり、においをかいでみたり。

続いて会のメンバーが、山の木を間伐し、活用することの大切さを話します。1人目は成田真澄さん。

「新や炭の出番が減って、山では昔ほど間伐が行われなくなりました。その結果、木が高齢化して病気になるったり、地盤に雨水が蓄えられないなど問題が起きています。木を切ることで森林破壊といったイメージを持つていた記者ですが、山ごと木を切ってしまうのと間伐とは、まったく意味が違うのだと知りまう話です。

2人目の発表者・製材業者の岡田和也さんは「地球温暖化の影響で木の成長が早まっています。製材してみると、年輪が詰まってなくてスチンスチ。そんな木が増えまう話です。木の仕事をすると、現場で温暖化を実感しているのです！

「間伐で木を守り、温暖化を食い止めた。木質ペレットは製材で出る端材や切り粉の活用にもなります」と話しました。

この後、大学で教える専門家の話もあり、参加者の頭はフル回転。「今後は気軽に参加できる体験型の企画も考えているんです」と松田さん。

11月10日(土)には、知恩寺(百万遍交差点東入ル北側)で「火の市」を開催。木質ペレットのバーナーで沸かした「ペレット足湯」が登場します。炭火料理のコーナーも。午前10時から午後4時。

問い合わせは、京都の木質資源の利用を考える会・事務局(株式会社Hibana) ☎075(533)2109。 <http://www.hibana.co.jp>



木質ペレットを燃料にした、ペレットストーブ

11月には足湯のイベント！

広告掲載の
お問い合わせ・お申し込みは
京都リビング新聞社
☎ 075(212)4411 まで

京都でペレット勉強会

京都の木質資源を考える 商會・中川典子氏が「京都材資源の循環を阻害するの

会では循環型資源である木材の有効活用を自指しての「木質ペレット勉強会」を9月26日に京都府庁内のNPOパートナーシップセンターで開催した。

第1部は、薪く炭くKYOTO（しんくたんくきょと）の成田真澄氏が「森林バイオマスの普及への取り組み」を、(株)岡田材木店・岡田和也氏が「京都の製材所の現状」を、(株)千本銘木材不足が顕著で、これが木

材資源の循環を阻害するのではとの懸念を示した。そのような中で、木質ペレットはクリムエネルギーとして時代ニーズに対応し、木材資源のより有効活用として新たな製材所の生き方として取り組んでいる。また同氏は「木を通して人の大きな期待を寄せている。木材の優位性のアピールの必要性を述べている。

また第2部では「木質ペレットの課題と期待」のテーマで京都学園大学バイオマス環境学部の中川重年教授が専門的立場から、ヨーロッパでの事例などを紹介しながら、全国で20カ所近くにまで増えているクリーンエネルギーとしての木質ペレットの優位性や課題などについて解説した。

京都議定書発効の地として京都では市バスの燃料に使用済みテンプラ油を使

商會・中川典子氏が「京都材資源の循環を阻害するの

の木材学（きりんがく）の

「木質ペレット勉強会」

おの立場で携わってきた

中での問題や課題を述べた。

とくに木材資源の循環の形

成に携わってきた木材業の

中でも川上の山側とも近い

製材所の立場から岡田氏が

住宅様式や生活の多様な

どの時代ニーズの変化で木

材業界は厳しい情勢にある

と、とくに次代を担うべき

後継者を含めた若手の人

材不足が顕著で、これが木

また、銘木業者の立場か

ら中川氏は一般消費者に分かりやすい木材の紹介として京都新聞に連載してきた「木材学のススメ」での反応を通じての木材への関心の高さとともに、反面、木材への知識不足の現状を述べ、環境に優しい自然素材であり、循環型資源としての木材の優位性のアピールの必要性を述べている。

また第2部では「木質ペレットの課題と期待」のテーマで京都学園大学バイオマス環境学部の中川重年教授が専門的立場から、ヨーロッパでの事例などを紹介しながら、全国で20カ所近くにまで増えているクリーンエネルギーとしての木質ペレットの優位性や課題などについて解説した。

京都議定書発効の地として京都では市バスの燃料に使用済みテンプラ油を使

材資源の循環を阻害するの

ではとの懸念を示した。

そのような中で、木質ペレットはクリムエネルギーとして時代ニーズに対応し、木材資源のより有効活用として新たな製材所の生き方として取り組んでいる。また同氏は「木を通して人の大きな期待を寄せている。木材の優位性のアピールの必要性を述べている。

また第2部では「木質ペレットの課題と期待」のテーマで京都学園大学バイオマス環境学部の中川重年教授が専門的立場から、ヨーロッパでの事例などを紹介しながら、全国で20カ所近くにまで増えているクリーンエネルギーとしての木質ペレットの優位性や課題などについて解説した。

京都議定書発効の地として京都では市バスの燃料に使用済みテンプラ油を使

用するなど、行政でも積極的に環境保全に取り組んでいるが、温暖化防止のうえでも森林の健全性は不可欠であることから今後行政一体となって、循環型資源でありクリーンエネルギーとしての木質ペレットの用途開発が望まれる。

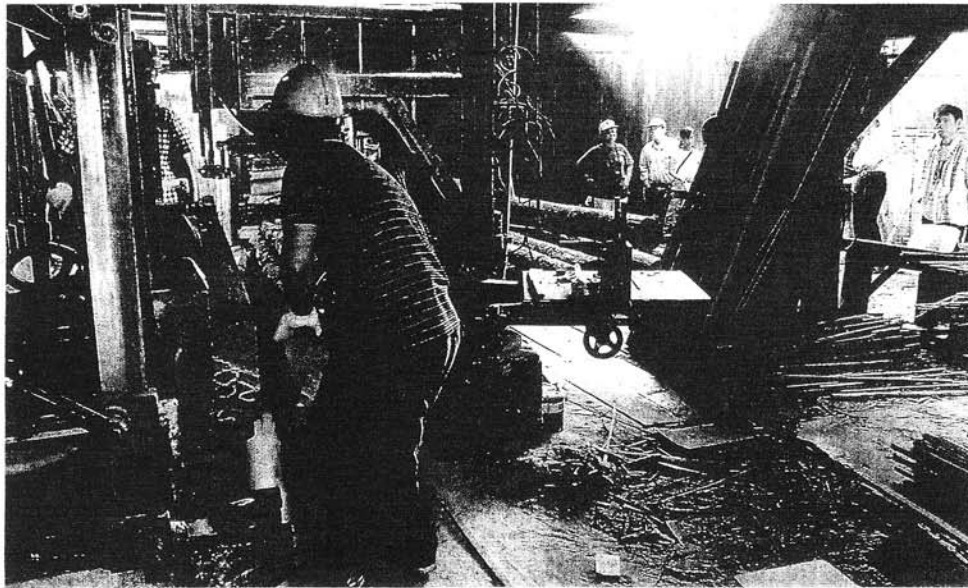


京都のペレット勉強会で④岡田氏⑤中川氏

京都議定書発効の地として京都では市バスの燃料に使用済みテンプラ油を使

木林学

中川 典子



ヒノキを挽いて板にする作業を見つめる見学者たち。手前の男性が板を受け止めるはなとりという作業をする。上、パレット製造機に製材作業で出た端材を入れる子どもたち(京都市南区、いずれも岡田材木店)

年輪が映す地球温暖化

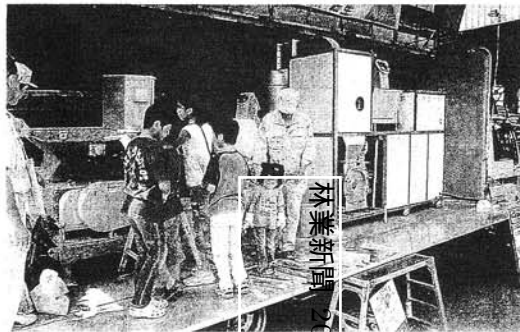
挽き粉が舞い上がり、次々と木の丸太から形の違い材木が出来上がる。高校生の時、その様子はものすごく不思議な感じがしました。僕が製材師になりたいと思つたのは、製材(い)つ何とも言えない憧れを、つてみたかったのだと思います。

昭和二十九年創業の岡田材木店の岡田和也さん(28)は、製材見学を訪れた人々に、そう語りかけました。京都市内には、今、約三千軒の製材所があるのだと言われています。製材機を毎日稼働させていると

こぼれ五、六軒と聞きます。特に街中の製材所は、騒音や挽き粉の問題や、原木の搬入や保管などが難しいところに、木材の製品化により、特定の材を作らなくても良い状況が成り立っているため、激減しているのが現状です。

もうひとつ、温暖化によって、かつては三千年や四千年かけて育っていた木は、今は二十年ぐらいで育ってしまうことが、木材の世界では大変深刻な問題になっています。年輪をかけて大きくなる年輪が、温

暖化によって、急速に大きくなる。夏の季節が長くなり、冬目も夏目が極端に成長して年輪の幅がなくなる。そして、昔よりもわらかい木質の木材ができ、太っている割には見掛け倒しに製材時の埃や感熱がサクサクになってきたそうです。



林業新聞 2007年10月10日

石油、石炭などの化石燃料が、いずれ枯渇すること、温暖化の問題の中で、身近な燃料であった木が、エネルギーとして注目されています。岡田材木店で「京都の木資源の利用を考える会」による「ペレット」ワークショップが開かれました。府内産材や製材所の見学後、木くず、挽き粉、樹皮、間伐材などを材料に木質ペレットを作ったり、ペレットストーブでつくった焼きいもを楽しんだり、



木質ペレット (資源有効利用へ新しい可能性)

というエコロジイイベント。木質ペレットは木の粉を固めてきた燃料で、欧米では暖房や給湯に広く普及しています。日本でもオイルショックのころに利用されていたそうです。木質ペレットは長さ約二、三センチ、直径六、五ミリ程度の円柱形で、専用のストローブで燃やすと最初は炎が上がり、やがて燃火となり、砂のような灰が少し出ます。ペレットストーブを学校や図書館などに取り入れている他府県の自治体もあります。が、京都府定書に掲げる京都では、残念ながらペレットはまだ「無名の存在」のよう。ペレットの原料は製材時に発生する挽き粉や端材で、木材の有効利用にもつながります。また研究段階とはいえ、ペレットだけでなく、パルペキューのできるペレットグリル、パンやピザを焼くペレットバーナー、ペレット足湯などの周辺機器が増えてきました。木質資源活用の新しい可能性が見つかりそうです。



木質ペレットを燃料とするペレットストーブ

木質ペレット

今回のワークショップで、11月10日午前10時から午後4時まで、京都市左京区百万遍の知恩寺である森の文化祭「火の市」で、足湯を沸かすに使用される、木質ペレットなどについての問い合わせは「京都の木質資源の利用を考える会」事務局の Hibana Co., Ltd. (Ueno) 2-10 Ogakura 1-chome, Ueno-ku, Kyoto. http://www.hibana.co.jp

次回(11月10日)に掲載します。

7

7-1 1

9 26 19:00 21:00

NPO

19 00 19 05

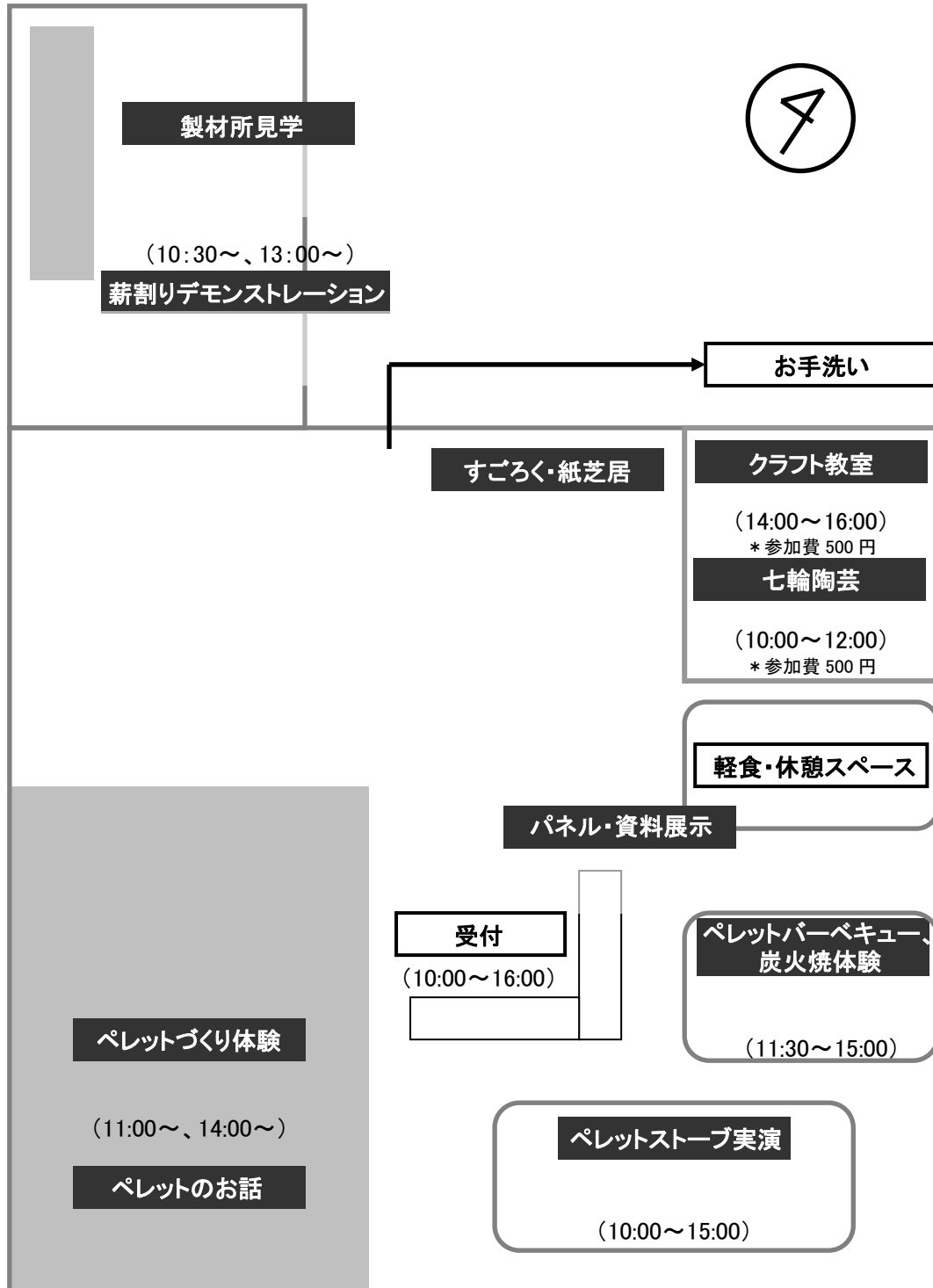
19 05 20 00

KYOTO

20 00 21 00

ペレットづくりワークショップ

2007 10 7 10:00 16:00



喫煙所 ●

ペレットで沸かす足湯・ウッディなカフェ&升酒と杉玉の日本酒Bar・つる籠編み・ホウト・焚アト・お土産・苗木・こけ玉・薪炭・木玉島・薪炭・木玉島

”あのお祭りが 今年もやってきた…!!”

触れて欲しい…木のよさ、 薪炭のよさ、 森のよさ。



11月は「火のある暮らし月間」(日本の森林を育てる薪炭利用キャンペーンによる。参考:<http://www.sumimak.org/>)です。
薪炭材のあったかさ、火のあったかさ、木のあったかさを感じてください!

「火の市～火のある暮らし～」2007年11月10日(土) 10:00～16:00@百万遍知風寺
「木のある暮らし～山でほっこり～」11月17日(土) 10:00～16:00@京都市北区雲ヶ畑林業総合センター
※両日とも雨天時は翌日に延期

第5回 森の文化祭

- アクセス:百万遍知風寺…京阪出町柳から徒歩10分
市バス停留所 百万遍からすぐ
- 雲ヶ畑林業総合センター…京都市バス37番系統「京阪出町柳駅」発「雲ヶ畑岩屋橋」行き
にご乗車の上「出合橋」でお降りください。(所要時間約50分)
「出合橋」から徒歩約15分
- 自家用車をご利用の場合、出町柳から賀茂川浴いを約15キロ、約40分

●参加費及び申し込み:不要

- 主催:雲ヶ畑の文化祭実行委員会 ●共催:山仕事チーム杉良太郎、薪くまのKYOTO、京都森林インストラクター会、京都府森林組合雲ヶ畑支所
- 後援(予定):京都市、京都府、NPO法人森林再生支援センター、京都府林業研究会、京都市市民活動総合センター、NPO法人コンシューマーズ京都、京のアレンジ217チーム、京都府温暖化防止センター、京都・森と住む100年の会、京エコーセンター、古村文化の会、(社)京都モデルフォレスト協会

●問い合わせ:雲ヶ畑の文化祭実行委員会まで moribun06@gmail.com
090-1830-8908 (渉外・水谷)

●公式サイト:<http://www.geocities.jp/moribun07/>

おもしろ森まつり・森の文化祭・etc... 森の文化祭実行委員会

7-4 2

11 21 19:00 21:00

NPO

19 00

1

19 03

19 20

19 40

21 00